２０２５年度　きたおおじ保育園

園だより １月

新年あけましておめでとうございます！
今年も子どもたちにとって、よりよい１年になりますように！！
今年もどうぞよろしくお願い申し上げます

＜クリスマスに向かって＞

１２月は、クリスマス会に向けてみんなで気持ちを少しずつ高めてきた１か月でした。お部屋には大きなクリスマスツリーが飾られ、子どもたちと楽しく作ったオーナメントが可愛く揺れます。仲間と顔を見合わせながらお歌を口ずさんだり、先生と一緒に体を揺らして踊ったりする中で、「何だか特別な日が来るんだ」という期待をみんなで共有していきました。ツリーの前で立ち止まり、「サンタさんくるかな？」とつぶやく姿や、オーナメントを指さしながら嬉しそうにお話する表情からも、子どもたちの胸の中にふくらんでいくワクワクがたくさん伝わってきました。

＜世代を越えて＞

迎えたクリスマス会当日。その子がその子らしく歌ったり踊ったりする子どもたちの姿はとっても可愛らしく、会場全体が優しい笑顔で包まれました。今年も高齢者施設の利用者さんたちを招待し、一緒に歌を楽しみながら過ごしました。子どもたちの愛らしい仕草に思わず笑みがこぼれ、「かわいいねぇ」と温かい声をかけてくださるおばあちゃんたちの表情はどれもとても柔らかく、会場にさらに温かな空気を広げてくださいました。世代を越えて同じ時間を共有し、笑顔と拍手が交わる瞬間は、とてもステキで心に残るひとときとなりました。

＜ハレルヤ♪＞

そしてもう一つのお楽しみ、先生たちの出し物は、映画「天使にラブソングを」より“ヘイル・ホーリー・クイーン”。英語の歌詞に苦戦しながらも、保育中もついロずさんでしまうほど練習を重ねてきた先生たち。その様子を見ていた子どもたちも少しずつ歌を覚え、気がつけば自然と一緒に歌い出すようになっていました。「先生たちの出し物」のはずが、いつの間にか「みんなの出し物」に変わり、本番では子どもたちと心をひとつにした楽しいゴスペルステージに。必死さよりも喜びがあふれ、笑顔いっぱいで歌う姿は、見ている人たちにも幸せを届けてくれました。

＜みんなが良い子だったから！＞

そして何より子どもたちがずっと楽しみにしていたサンタクロースもトナカイさんと一緒に登場！会場は一気に歓声と驚きでいっぱいになりました。大きな袋からプレゼントを受け取り、ちょっぴりドキドキしながらも嬉しそうな子どもたちの表情は、まるでクリスマスの魔法に包まれたようにキラキラ輝いていました。

笑顔、歌声、温かい交流、そして驚きと喜びがたっぷりつまったクリスマス。子どもたちの心の中に優しい記憶として残り、これからの毎日を支える温かな力になっていくことを願っています。新しい年を迎え、今年も子どもたち一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、みんなで楽しい時間をたくさん共有していきたいと思います。

主任保育士　糸井恵太

きたおおじアルバム